

4-1-12 臨床検査部

4-1-12-1 病理検査室

1. 診療活動

病理検査室では病理組織診、細胞診、病理解剖を柱として、胎児・胎盤・小児疾患、産科・婦人科疾患などに関する病理診断を行っている。高度先進検査室と連携を通じ、FISH, DNA 解析を行い、診断、治療方針の決定に役立っている。さらに、一部の症例については研究所に解析を依頼し、精度の高い病理診断に結びつけている。また、周産期関連では近年治療対象臓器として注目されている胎盤に関し、臨床医をまじえて詳細に検討し、胎盤血管の検索など胎児治療に直結する検索を行っている。

院内の臨床-病理カンファレンス(ICU、腎臓科)の定期的開催、院内合同カンファレンス(腫瘍、胎児)への参加、他施設からの病理研修生の受け入れを行っている。また、関東・東海・東北地区の小児病理専門医の症例検討会も開催し、院内からの参加者も加わって、活発な意見交換が行われている。また、日本小児病理研究会会員への情報発信にもかわり、わが国における小児病理の拠点として活動している。

2. 研究活動

高度先進検査室、研究所との密接な連携のもと、小児固形腫瘍を対象として病理学的、細胞生物学的ならびに分子生物学的な解析方法を用いた研究を行っている。

胎児治療の中心的施設の病理部門として、稀少症例の蓄積を通じた周産期病理にかかわる情報発信、意見交換を積極的に行っていく予定である。

病理検査件数(平成 15 年度)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織迅速顕微鏡	5	8	7	3	16	1	7	6	9	5	8	8	83
組織顕微鏡検査	93	108	99	128	146	124	110	101	95	128	101	145	1,378
組織顕微鏡 2臓器 n×2	15	9	19	10	13	6	16	6	12	11	21	24	324
組織顕微鏡 3臓器 n×3	9	0	1	3	3	1	2	2	1	4	1	1	84
電子顕微鏡検査	4	4	3	7	9	5	6	3	4	4	1	12	62
免疫抗体法検査	9	12	10	15	12	11	16	5	13	12	12	14	141
病理組織検査 (12)計	168	150	160	182	218	156	177	133	148	183	167	230	2,072
細胞診(婦人科)	157	185	181	173	192	223	227	195	215	187	178	205	2,318
細胞診(その他)	16	29	38	41	40	58	82	62	40	42	32	44	524
(特殊染色)	33	54	64	78	68	88	108	87	67	73	47	78	845
(免疫染色)	6	9	12	12	8	11	10	6	11	12	21	12	130
細胞学的検査(13)計	212	277	295	304	308	380	427	350	333	314	278	339	3,817
剖検数(38)計	4	4	3	1	2	3	1	2	0	0	1	4	25
ブロック数(39)計	160	160	120	40	80	120	40	80	0	0	40	160	1,000